

本件は、本日、米国においても Rogers 社より発表しています。



2011年10月18日
日立化成工業株式会社
Rogers Corporation

日立化成とRogersがHSD用プリント配線板材料において 戦略的コラボレーション強化契約を締結

日立化成工業株式会社(東証一部:4217)(以下、日立化成)とRogers Corporation (NYSE: ROG)(以下、Rogers)はこの度、ハイスピードデジタル機器用プリント配線板材料(以下、HSD用配線板材料)のグローバル市場における販売拡大および顧客対応力の向上を目的として戦略的コラボレーション強化契約(以下、本契約)を締結しました。本契約により、日立化成とRogersはインターネットデータ通信やビデオサービス等向けの1Gb/s以上の高周波特性を活かした高速サーバ、ルータ、通信機器などのHSD市場の需要に対応できる幅広い製品展開、迅速納品、技術サポートの提供が可能になります。

本契約は、2008年12月に両社が製品ラインナップおよび売上拡大を目的として、製品を相互に供給し、自社ブランドで販売するという契約をさらに発展させたものです。本契約により、Rogersは、日立化成の一部顧客以外へのHSD用配線板材料の独占販売権を得るほか、日立化成から供給されたプリプレグ*からHSD用配線板材料の製造が可能となります。それにより、Rogersは幅広い高機能配線板材料製品のラインナップの拡充が図れるほか、日立化成は技術力を活かした製品を市場に提供し、Rogersが持つワールドワイドの販売網を活用したHSD用配線板材料の売上拡大を目指します。また、新製品の共同開発も行う予定です。

始めに、現在RogersがHSD用向けブランド「THETA®」で展開している日立化成の低誘電率ハロゲンフリーHSD用配線板材料「MCL-HE-679G」の採用拡大に努め、グローバルで拡販を行い、その後は、日立化成の低伝送損失HSD用配線板材料「MCL-FX-2」および「GFA-2(プリプレグ)」の採用を拡大し、ワールドワイドでの拡販を推進します。

日立化成 執行役 配線板材料事業部長 中川 操のコメント

「日立化成は本コラボレーション契約の締結によってHSD市場に対して素晴らしい、製造、開発、顧客サポート体制を確立したいと切望しています。このコラボレーションによりHSD用配線板材料ソリューションに両社の強みを活かすことが可能となります。両社で一緒に働くことにより、我々の提供するお客さまへの価値を最大限にすることおよび市場でのリーダーとなることが可能になると考えています。」

Rogers ACM 部門シニアバイスプレジデント Mike Bessette のコメント

「Rogersは本コラボレーション契約の締結により日立化成とのパートナーシップを強化できたことは素晴らしいことだと思います。両社の製造力、製品開発力、顧客サポート力を結束し、総合的なHSD用配線板材料ソリューションと、ネットワークインフラ市場のお客さまへ説得力のある製品提案をしていきます。」

*プリプレグ: ガラスクロスに熱硬化性樹脂を含浸させたプリント配線板材料の中間材

= ご参考 =

日立化成工業株式会社について

日立化成工業株式会社(本社:東京、執行役社長:田中 一行、資本金:155億円)は、東京に本社を置く化学メーカーです。社員は約15,900名、売上高は4,975億円(2010年度連結ベース)で、数多くのトップシェア製品を有しており、機能材料セグメント、先端部品・システムセグメントの幅広い材料・部品分野に製品を展開しています。日立化成は、1955年に紙基材フェノール樹脂銅張積層板の製造を開始し、1958年には国内初のガラス布基材エポキシ樹

脂銅張積層板の製造を始めて以来、事業を拡大し、半導体パッケージ用の高機能多層材に定評があります。詳しい情報に関してはwww.hitachi-chem.co.jpをご覧ください。

Rogers Corporationについて

Rogers Corporation (本社:コネチカット(米国)、執行役社長: Bruce D. Hoechner)は家電製品、パワー・エレクトロニクス、公共交通、持続可能エネルギー、電気通信インフラなど高性能や信頼性が求められる特殊材料およびコンポーネントに関する世界的なリーディング・カンパニーです。179年以上におよぶ物質科学とプロセス工学の経験と知識を持つロジャース社は、過酷な要求特性が求められる製品に向けたソリューションを提供しています。ロジャース社が手掛ける製品には、無線基地局、パワーアンプ、レーダーシステム、高速デジタル向け先端基板材料、また高電圧の鉄道用途、ハイブリッド車、風力や太陽光エネルギー変換向けパワー・エレクトロニクス、そしてスマートフォン、航空機や鉄道の内装、自動車や衣料品などのシールやエネルギー管理向け高性能フォーム、さらには防衛、民生品などの様々な市場に向けた先端材料などがあります。米コネチカット州に本社を置くロジャース社は米国、ベルギー、中国、ドイツおよび韓国に製造拠点を構え、世界各国に合弁会社と営業所を有します。詳しくは<http://www.rogerscorp.com>をご覧ください。

= 報道・IR 関係のお問い合わせ先 =

日立化成工業株式会社

コーポレートコミュニケーションセンタ 広報担当: 長谷川、施政

Phone: 03-5381-2375

Fax: 03-5381-3023

Email: s-shi@hitachi-chem.co.jp

Website Address: www.hitachi-chem.co.jp

Rogers Corporation(米国)

William J. Tryon, Manager of Investor and Public Relations

Phone: +1-860-779-4037

Fax: +1-860-779-5509

Email: william.tryon@rogerscorp.com

Website Address: www.rogerscorp.com

以上